「Branch atheromatous disease の神経症状増悪に影響する因子についての検討」に

関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんの検体を用いた以下の研究を実施いたします。

本研究は、国際医療センター倫理審査委員会の承認を得ての承認得て、病院長による許可のもと行うものです。本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、残余検体やカルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先まで申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2019年01月01日から2023年03月31日の期間に埼玉医科大学国際医療センターを入院し、Branch atheromatous disease (分子粥腫病) 型脳梗塞と診断され、検査・治療が行われた患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

BAD 患者における早期神経症状悪化に影響する因子を解析することで、最適な治療方法の確立に繋がることを期待できる。

3. 研究期間

病院長の許可後～2023年12月31日

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

急性期 BAD 患者さんを対象に年齢、性別、既往歴、血液検査、脳卒中重症度、治療内容および退院時の転帰についての臨床情報を電子カルテを用いて収集します。

この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学国際医療センターにおいて、研究責任者である藤原史奈子が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

BAD と診断された患者さんの検査を実施した際に生じた残余検体、検査データおよび診療記録等を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

脳神経内科・脳卒中内科	医師	助教	藤原史奈子（研究代表者）
脳神経内科・脳卒中内科	医師	教授	須田智
脳神経内科・脳卒中内科	医師	教授	高橋愼一

脳神経内科・脳卒中内科 医師 助教 新井徳子
脳神経内科・脳卒中内科 医師 助教 藤原史奈子
脳神経内科・脳卒中内科 医師 客員教授 出口一郎

4. 試料・情報の管理責任者

脳神経内科・脳卒中内科 医師 助教 藤原史奈子

お問い合わせについて

ご自身の検体やカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学国際医療センター 脳神経内科・脳卒中内科 藤原史奈子

住 所：〒350-1298 埼玉県日高市山根 1397-1

電話番号：042-984-4220（土日祝日を除く 8：30～17：30）

○研究課題名：Branch atheromatous disease の神経症状増悪に影響する因子についての検討

○研究責任者：埼玉医科大学国際医療センター 脳神経内科・脳卒中内科 藤原史奈子